琉球大学附属図書館報
びぶりお
http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/
April 2015
162
Vol.48 No.1
ISSN:0286-8229

巻頭言

自分を磨け！

琉球大学附属図書館長　**花　城　梨枝子**

ゆとりなどどこにもない。ジングルベルも高らかな昨年末、内閣府は2013年度の国民経済計算確報で、可処分所得のうちどれだけ貯金に回したかを示す家計貯蓄率が戦後初めてマイナス1.3％となったことを発表した。すでに実質消費支出も、前年比で８ヶ月連続して減少している（総務省11月速報値）。日本人は貯蓄が好きな民族で、どんなに貧しくても、爪に灯をともすように蓄えると言われてきたが、日々の生活がやっとなのだ。

大学の教員になって久しいが、ここしばらく学生たちの生活困窮を実感している。研究室の調査（2009卒論）では、琉球大学の学生の約半数（45％）が奨学金を受けている。「奨学金をもらう」と学生がいうと、私は「もらうのではなく借金」と訂正することにしている。今の奨学金は、そのほとんどが返済しなければならない借金である。貸与月額で最も多いのは５万円（50％）で、５万円未満が18％、５万円を超える額は32％、月５万円では４年間で240万、月10万円では480万の借金である。すぐに職を得て返還できる状態であればよいが、３回無届けで延滞すると、その個人信用情報は５年間残り、将来の経済生活に影響を及ぼす。大卒でも不安定な職が多い昨今、３回の延滞は他人事ではない。

このような時代に人生を切り開く鍵は、自分自身の能力しかない。附属図書館は、学生の“知”を磨く支援を行っている。様々なジャンルの本を数多く読んでほしい。「琉大生のための情報リテラシーガイドブック」は、大学で学ぶことの基本が詰まっている。図書館には静かに思索できる“場”、友人と協力して問題解決できる“場”がある。さらに１～２年生にはレポートの書き方、３～４年生には卒論の文献収集、留学生にはレポートの日本語チェックと様々な学修支援を行っている。人生を切り開く根源的な力は、自分自身の人的資源の涵養にある。自分を磨け！　琉大附属図書館はしっかりと大学生活の４年間を支えたい。

（はなしろ りえこ：教育学部教授・消費者問題，生活経済学）

【目 次】

1 …… 巻頭言
2 …… 「第８回琉球大学びぶりお文学賞」を発表
3 …… 受賞の言葉『クオリティオブライフ』比嘉正人
4 …… 平成26年度琉球大学附属図書館・資料館（風樹館）合同企画展を開催しました
本学所蔵資料が利用された報道・出版
5 …… Library Lovers’キャンペーンを開催しました
合同企画展「誰もが輝ける社会を目指して～男女共同参画推進への挑戦～」を開催
6 …… 図書館見学　平成26年８月～12月
学修相談窓口活動報告
大学入学から卒業まで役立つ「情報リテラシーガイドブック」が今年も完成
7 …… 「沖縄資料ガイドブック（琉大史跡編）」ができました
ブックハンティングに行ってきました　報告・感想
8 …… 平成27年度　開館カレンダー
平成27年度　新入生オリエンテーション案内

「第８回琉球大学びぶりお文学賞」を発表

琉球大学びぶりお文学賞は、本学が目標として掲げる「地域及び広く社会に貢献する人材」「意欲と自己表現を有する人材」育成の一環として、言語力（読む力、書く力）を向上させ、想像力、表現力、創造力豊かな学生を育成するとともに、文学の啓蒙活動を進め、地域社会における文学・文化活動のリーダーを輩出することを目的としています。琉球大学に在学する学生を対象に平成 19 年度に創設したものですが、昨年度の第７回から、応募資格を本学の学生と限定せず、沖縄県内の大学・大学院・高専等の学生へ拡大して実施しています。

８回目を迎えた今年度は、学内外合わせて小説部門では 10 編、詩部門では 48 編の応募があり、今回初めて、本学以外から受賞者が選ばれました。入賞作は下記のとおりです。

＜小説部門＞

受賞作『クオリティオブライフ』比嘉正人（沖縄大学・人文学部福祉文化学科３年）
佳作『ディファレンス』浦松琉介（沖縄国際大学・法学部地域行政学科３年）
『僕ら、この上の者』松本弦（琉球大学・法文学部国際言語文化学科４年）
『青に揺らぐ』野村人鳥（琉球大学・法文学部人間科学科１年）

＜詩部門＞

受賞作　該当なし
佳作『海岸・小景』安里和幸（琉球大学・法文学部総合社会システム学科２年）
『つわもの』宮里春奈（沖縄工業高等専門学校・生物資源工学科４年）
『折りヅル』名嘉司央里（沖縄国際大学・総合文化学部日本文化学科４年）
『思う』猩良（琉球大学・法文学部国際言語文化学科４年）
『青に手を伸ばして』金城絵音（沖縄工業高等専門学校・メディア情報工学科４年）

授賞式は、平成 26 年 12 月 17 日に附属図書館会議室で行われ、大城肇学長から賞状と副賞が授与されました。また、佳作を含む受賞作品は３月下旬にも作品集として冊子体で発行され、図書館ホームページや琉球大学学術リポジトリで公開の予定です。

びぶりお文学賞 OB も活躍しています！
●山原みどり（第１回びぶりお文学賞受賞）
九州芸術祭文学賞沖縄地区次席（2008・2010 年）、第６回おきなわ文学賞詩部門佳作（2010 年）
●菅谷聡（第２～４回佳作）
第 10 回おきなわ文学賞詩部門二席（2014 年）
●照屋たこま（第５回びぶりお文学賞小説部門受賞）
第 41 回新報短編小説賞（2013 年）
●比嘉正人（第８回びぶりお文学賞小説部門受賞）
第 10 回おきなわ文学賞小説部門一席（2014 年）

●受賞の言葉●　『クオリティオブライフ』比嘉正人

第８回びぶりお文学賞をいただきました、沖縄大学福祉文化学科３年の比嘉正人です。このような名誉ある賞をいただけて、大変嬉しく思います。

拙作「クオリティオブライフ」は、僕と同じく福祉文化学科の学生が主人公です。僕自身が普段学校で学んでいることや体験したことを小説に出来ないだろうかと考えたことが、作品を書くきっかけとなりました。

主人公は老人介護施設で１ヶ月の実習を行うのですが、彼はそこで多くの体験をします。意識の無い妻を甲斐甲斐しく世話する老人や、病気の母の安楽死を決意した男性、自分と違う思想を掲げて安楽死を肯定する施設長など、色々な人に出会っていく中で、主人公は生きることの意味を考えさせられます。物語の最後に主人公が悟る、年をとることの残酷さ、尊さが、読んだ人に少しでも伝われば創作者冥利に尽きる思いです。

この作品は多くの人に支えられています。拙作を選考していただいた審査員の先生方、僕の無茶で色々迷惑をかけてしまった琉大図書館の照屋さん、ブログで講評を書いて下さった沖国の大野先生、専門用語の校正を快く引き受けてくれた沖縄大学福祉文化学科の玉木先生へ、この場を借りて感謝の意を述べたいと思います。

もう僕はびぶりお文学賞に応募出来ませんが、来年も再来年も、もっと面白い作品がこの賞から発掘されることを期待しております。びぶりお文学賞の今後更なる発展を願って、僕からのコメントとさせていただきます。

小説部門受賞作

クオリティオブライフ

比嘉　正人

（抜粋）

僕と大城所長は、初子さんが寝ている個室に足を運んだ。

目も当てられない、といったら失礼かもしれないが、それ以外に言葉は見つからなかった。職員が毎日キレイにしているとはいえ、消えようのない糞便の匂いが、まず部屋に入った僕の鼻をついた。

栄養チューブが繋がれ、弱り切った初子さんの手足はこれ以上ないほど細く、今にも折れてしまいそうだ。

生物学的に考えれば、彼女は生きている。しかし倫理の視点から見れば、彼女が生きているのか死んでいるのかは迷うところだ。

「稲福君、彼女の腕に触れてみろ」

大城所長に言われ、僕は枝のようになっている初子さんの腕に触れた。

「脈があるだろう」

「……はい」

「彼女にはまだ血が流れている。死んでるように見えるかもしれんが、その実彼女は生きているんだよ」

「大城所長。初子さんは、こうなってまで生きるべきなんですか？」

失礼を承知の上での問い掛けだった。

「さあ、私はそうは思わないね」

僕は初子さんを改めて目にした。年を取ることがこういうことだと言うのなら、僕は年なんか取りたくないと思った。

続きは、作品集をご覧ください。

平成 26 年度琉球大学附属図書館・資料館（風樹館）合同企画展を開催しました

展示室でのギャラリートークの様子

琉球大学附属図書館及び資料館（風樹館）は、資料の公開や地域貢献の一環として、合同企画展「久米島のくらしと自然」を久米島博物館にて 11 月 2 日から 11 月 16 日の日程で開催しました。本展は文部科学省大学ＣＯＣ事業「地（知）の拠点整備事業」の補助事業に採択された「ちゅら島の未来を創る知の津梁（かけ橋）」事業の一環として開催されたものです。

本展では、本学所蔵資料の中から、開催地である久米島に関わる資料を中心に附属図書館より 14 点、資料館より 13 点、共催機関からの展示として 1 点を加えた合計 28 点の原資料と 1960 年頃の久米島の様子を写した写真パネル等 98 点が展示されました。さらに、関連イベントとして、ギャラリートークと 3 回の連続講座を開催しました。

期間中、約 700 名の見学者が訪れ、その模様は新聞でも紹介されました。見学者からは「普段見ることのない資料を見る機会となってよかった」「久米島の固有種の存在を知った」といった感想が多数寄せられました。

連続講座の様子

リバイバル展にて展示したパネル

また、この企画展で展示した資料の一部を、学内外の皆様に観ていただくため、平成 26 年 12 月 16 日（火）～平成 27 年 2 月 1 日（日）の期間において、琉球大学附属図書館 1 階多目的ホールにてリバイバル展示を行いました。

本学所蔵資料が利用された報道・出版

分類	内容	資料名	備考
掲載	小中学生新聞りゅう PON! 連載「モノがたり」資料写真の掲載許可	伊波普猷文庫 No.73「琉歌集・琉歌百控乾柔節流」	掲載日：2014 年 8 月 31 日
掲載	新潟日報朝刊（9 月 29 日付）に掲載予定の田島利三郎に関する記事の掲載許可	伊波普猷文庫 No.46「おもろそうし（田島本）」	掲載日：2014 年 9 月 29 日
出版・展示	平和祈念資料館の第 15 回特別企画展「南洋の群生が見た理想郷と戦」における出版・展示物への掲載許可	矢内原文庫　南洋　「学藝会プログラム」「南洋庁ヤップ公学校『学校要覧』昭和 8 年 5 月」「新聞記事：南洋朝日新聞」「新聞記事：南洋ラジオ新聞」「日本郵便「裏南洋航路」昭和五年七月」「新聞切り抜き『東京朝日新聞』」「パラオ支庁勢要覧昭和 7 年 10 月刊行」「パラオ支庁勢要覧昭和 8 年 6 月刊行」「南洋廳『南洋群島國語読本　巻一本科用』」「南洋廳『南洋群島國語読本　巻六本科用』」「南洋廳『南洋群島國語読本　巻一補習用』」「調査回答書：沖縄縣人及移民竝管内一般人口状態調」	展示会開催日：平成 26 年 10 月 9 日～ 12 月 11 日（沖縄県平和祈念資料館）、平成 27 年 1 月 17 日～ 2 月 26 日（八重山平和祈念館）
出版	隔週刊『剣客商売 DVD コレクション』（デアゴスティーニ・ジャパン発売、アッシュ編集・政策）における使用許可	「琉球人行列図」（書誌 ID:RB00393669）［琉球人行列図錦絵］）	発行日：2014 年 11 月 25 日
展示	博物館特別企画「ペリー一行の見た琉球・日本」にパネル展示するため	（八重山島へ一世流刑）手形（宮良殿内文庫 No.170）	特別企画開催日：平成 26 年 11 月 29 日～ 12 月 21 日
出版	学研『歴史群像』129 号「琉球戦国史」内に掲載	『明治期琉球写真帳』より中山門写真	発行日：2015 年 1 月 6 日
放映	ウチナー紀聞「まちづくりへ！与那原駅舎復元」に利用（2015 年 1 月 25 日放映）	西脇文庫より「与那原駅」「魚町通り」	放送日：2015 年 1 月 25 日

Library Lovers' キャンペーンを開催しました

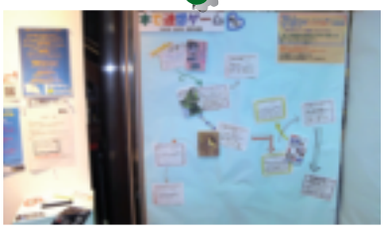
10 月 20 日（月）～ 11 月 16 日（日）の期間、九州地区大学図書館の合同イベントである「Library Lovers' キャンペーン」を開催しました。九州地区合同企画のほか、当館の独自企画として 3 つのイベントを実施しました。

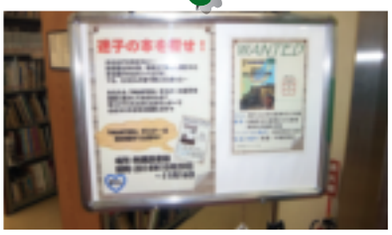
合同企画の様子

「衝撃のワンフレーズ～このひと言があなたを変える～」（九州地区大学図書館合同企画）

本のなかで衝撃を受けたひと言を募集し、投稿されたワンフレーズを参加館全体で共有して自由に展示を行う企画。当館からは 21 件の投稿が寄せられました。

※ 2014 年度 Library Lovers' ホームページ（http://librarylovers.blog.jp/）から各参加館の取組みやワンフレーズの一部が閲覧できます。


本で連想ゲームの様子


迷子の本を探せ！

◎貸出回数 0 の本（独自企画①）

2014 年に新規受入された図書の中から未貸出の図書を選定し、展示及び貸出するイベント。

キャンペーン期間中に 22 冊の本が初めて貸し出されました。

◎本で連想ゲーム（独自企画②）

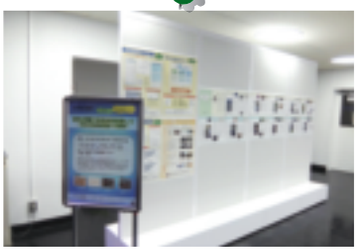
連想元の図書のタイトル・ジャンル・内容等のキーワードから連想する図書を紹介するイベント。

様々な視点からの投稿があり、7 冊の本が紹介されました。

◎迷子の本を探せ！（独自企画③）

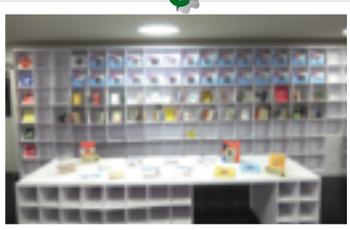
利用後、誤って別の場所に戻された等の理由から図書館内で行方不明となった本を捜索するイベント。事前に選定した 10 冊を対象とし、2015 年 1 月までに 2 冊の本が発見されました。

合同企画展「誰もが輝ける社会を目指して～男女共同参画推進への挑戦～」を開催



1 月 19 日（月）から 3 月 20 日（金）の間、本館 1 階ロビーにて、琉球大学うない研究者支援センターとの合同企画展「誰もが輝ける社会を目指して～男女共同参画推進への挑戦～」を開催しました。

国内外の男女共同参画の動向や本学の女性研究者支援の取り組みについてのパネルを展示し、関連図書の展示･貸出を行いました。なかでも、普段はなかなか知り得ない11名の女性研究者の研究活動（ワーク）とプライベートな生活（ライフ）をわかりやすく紹介したパネルは、学生にとって今後のキャリアデザインを考える上で大きなヒントを得られるものでした。また、約 170 冊の関連図書及び女性教育情報センターから貸出サービスを受けている“うない文庫”100 冊は、企画展開始と同時に貸出され、学生の関心の高さが窺えました。



さらに毎週月曜日には、グループ学習室 C にて「家族・いのち」をテーマとした上映会も行い、「生きる」ことについても深く考えさせられる良い機会になりました。

図書館見学　平成 26 年 8 月～ 12 月

訪問日	見　学　者
9 月 16 日	琉大附属小学校　30人　図書館見学およびインタビュー
9 月 17 日	琉大附属小学校　87人　図書館見学およびインタビュー
9 月 25 日	沖縄県立那覇商業高等学校　43人　図書館見学
10 月 15 日	石川県立能登高等学校　29人　図書館見学
10 月 17 日	沖縄県立陽明高等学校　26人　図書館見学
11 月 12 日	沖縄県立南風原高等学校　54人　図書館見学
11 月 14 日	沖縄県立宜野座高等学校　27人　図書館見学

学修相談窓口活動報告

平成 26 年 7 月より、授業期の平日 13 時から 17 時に学修相談窓口を開設しました。

レポート・卒業論文のテーマ設定や資料収集の方法、大学院進学に関すること、留学生の日本語表現の添削といった相談が寄せられ、大学院生が相談者と対話しながらアドバイスしました。

12 月には、外部より講師をお招きし、学修相談の内、レポートや論文の書き方に関する相談への対応方法についての研修会を開催しました。窓口の院生のほか、図書館職員･他の院生も参加し、レポートを批判的に読むワークや窓口対応のロールプレイングを交え、より効果的な学修支援について考える機会となりました。

院生には、窓口対応のほか、各自の勉強法、レポート作成やゼミ発表のポイントなどをまとめたリーフレット型のガイドを作成してもらいました。ガイドは、館内で配布するほか図書館ホームページからも公開しています。

また、おすすめの本を挙げてもらい、紹介コメントとともに館内で展示しました。展示開始後、他の学生が本を手に取ったり借りていったりする姿が見られました。

このほか、「琉大生のための情報リテラシーガイドブック 2015」（後掲）には、彼らが執筆した大学での学びに役立つコラムを掲載しています。

図書館では、今年度も学修支援事業を実施する予定です。詳細が決まり次第、図書館ホームページでお知らせしますので、ぜひご活用ください。

「院生のおすすめ本」展示の様子

大学入学から卒業まで役立つ「情報リテラシーガイドブック」が今年も完成

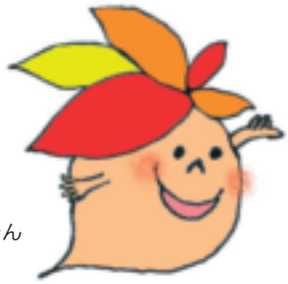
毎年作成している『琉大生のための情報リテラシーガイドブック』の 2015 年度版が完成しました。大学に入学したばかりの新入生はもちろん、在学生や先生方にも活用いただける内容になっています。

おもな内容
- レポートの書き方、引用、著作権
- 図書館の使い方、資料の探し方
- 英語多読について
- 琉球大学の情報基盤（ネットワーク等）の使い方
- 研究倫理について

★先輩から勉強方法のアドバイスもあるよ！

ガイドブックは新入生に配布するほか、図書館 2 階カウンターでも無料配布します。ホームページでも公開しますので、大学での勉強で困ったときにはぜひ読んでみてください。

「沖縄資料ガイドブック（琉大史跡編）」ができました


きじむん

沖縄資料担当職員によるコラム「きじむんのどぅーちゅいむにー（平成 26 年度分・全 12 回）」と琉球・沖縄関係データベースの使い方などをまとめた小冊子を作成しました。

「きじむんのどぅーちゅいむにー」では琉球大学内やその近郊の史跡をテーマにしています。また琉球・沖縄関係データベースでは「琉球・沖縄貴重資料データベース」や「沖縄文献情報データベース（BIDOM）」の使い方などを紹介しています。きじむんと一緒にお楽しみください。

なお、平成 27 年度の「どぅーちゅいむにー」は「沖縄の妖怪」がテーマの予定です。

ブックハンティングに行ってきました　報告・感想

平成 26 年度第 1 回目の選書ツアーを 9 月 19 日に那覇市のジュンク堂書店那覇店で実施しました。今回のツアーには学生選書グループ員 8 名が参加し、2 時間かけてそれぞれの専門分野の本や薦めたい図書を選定しました。選んだ図書は既に図書館で所蔵しているタイトルを除いた約 200 冊を購入し、企画展示「ブックハンティングに行ってきました」で紹介されました。

＜参加者の感想＞

・自分の専攻分野に関する本を蔵書して頂ける良い機会でしたので、自らの学びを深め、視野を広げられそうな書物を選定しました。「こんな本が図書館 にあったらなあ」という希望を叶えられるので、学部･学科関係なく本の好きな方・本に興味のある方は参加されたら良いと思います。同じ専攻の方々の役に立てるはずですし、蔵書をもっとバラエティ豊かにすることに貢献できるかもしれません。（法文学部 1 年）

・選書ツアーの一番の醍醐味は、「本屋さんで新しい本と出会うことができること」です。前回参加した時とまた違う本に目がいくのも「自分が変化してるのだなぁ」という実感を覚えます。ぜひ、多くの方にこの選書ツアーに参加し、本との出会いをしていただきたいと思います。（法文学部 3 年）

・就職や自己啓発本を選んだところ貸出があったようで、大学生としてこのジャンルが求められているのかなと思いました。情報工学の図書が少なく、また古いので新しい図書が欲しいと思い選書したが、購入した図書が借りられていないのをみると、情報工学の学生へのアピールが少なかったと感じています。情報工学の学生は図書館を利用しない人が多いので、もっとアピールしていきたいです。（工学部 1 年）

・研究のためにあると嬉しい内容の本や、大学生にぜひ読んで欲しい本など、もともと図書館において欲しいと思っていた本はもちろん、ジュンク堂で見つけた面白そうな本などを探し出して選ぶ作業は宝探しのようで面白かったです。この選書ツアーをきっかけに、また私の日々の生活の中に本を読む機会が増えていくといいなと思っています。（理学部 M1）

平成27年度 開館カレンダー　Library Calender 2015

本館

開館時間　■通 常 期・月～金 ［黒］(Black) 8:00 ～ 22:00
■土日･祝日･休業期 ［青］(Blue) 8:30 ～ 22:00
■ 休館 ［赤］(Close)

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

附属図書館本館では、平成27年度に耐震補強・機能改善のための改修工事を行います。
改修工事日程及び期間中の利用方法等は、図書館ホームページに専用ページを作成し随時更新しておりますので、ご確認をお願いします。
利用者のみなさまにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/?p=12829

医学部分館

開館時間　■通 常 期・月～金 ［黒］(Black) 8:00 ～ 22:00
■土日･祝日･休業期 ［青］(Blue) 8:30 ～ 22:00
■ 休館 ［赤］(Close)

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

平成27年度　新入生オリエンテーション案内

図書館では、新入生のための図書館オリエンテーションを開催します。充実した大学生活を送るために、図書館の利用法や活用法をガイドしますので、ぜひご参加ください！

【開 催 日】
４月２日（木）～10日（金）の平日
【開催時間】
①　12：15～12：45　　②　16：30～17：00
【集合場所】
附属図書館本館２階カウンター前
【内　　容】
図書館ツアー

予約等は必要ありません。３分前までに集合してください。
問い合わせ先▶　情報リテラシー係（Tel：098-895-8168）

【奥付】　琉球大学附属図書館報「びぶりお」第 48 巻 1 号（通巻第 162 号）
発行日：2015年（平成27年）４月１日
編集・発行：琉球大学附属図書館
〒903－0214　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地
ＴＥＬ：098－895－8167
E-mail：kikaku@lib.u-ryukyu.ac.jp